

EUROPEAN PATENT OFFICE

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 11242677
PUBLICATION DATE : 07-09-99

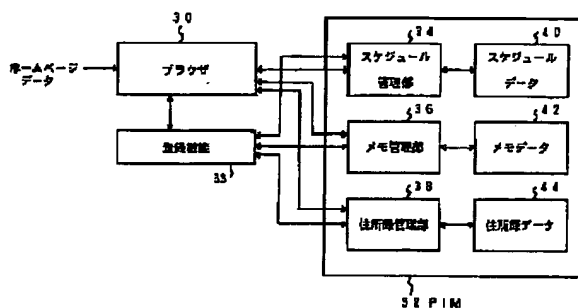
APPLICATION DATE : 25-02-98
APPLICATION NUMBER : 10043488

APPLICANT : CASIO COMPUT CO LTD;

INVENTOR : WATANABE AKIRA;

INT.CL. : G06F 17/30 G06F 12/00 G06F 13/00
G06F 15/00 G06F 17/60

TITLE : INFORMATION EQUIPMENT AND
STORAGE MEDIUM



ABSTRACT : PROBLEM TO BE SOLVED: To effectively utilize various information or services provided by a home page on the Internet without forcing a burden on a user.

SOLUTION: This information equipment is provided with a PIM 32 (schedule managing part 34, note managing part 36 and address book managing part 38) for managing personal information for a prescribed information unit, a browser 30 for reading a relevant home page according to the designation of uniform resource locator(URL) information and transmitting data while utilizing the home page and a registering function 33 for relating the URL information of the home page read by the browser 30 with the prescribed information unit managed by the PIM 32. In this case, the home page is read based on the URL information related with the personal information managed by the PIM 32.

COPYRIGHT: (C)1999,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-242677

(43) 公開日 平成11年(1999) 9月7日

(51) Int.Cl.⁶

識別記号

F I

G 0 6 F 17/30

G 0 6 F 15/403

3 8 0 C

12/00

5 4 7

12/00

5 4 7 H

13/00

3 5 4

13/00

3 5 4 D

15/00

3 1 0

15/00

3 1 0 A

17/60

15/21

L

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 11 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号

特願平10-43488

(22) 出願日

平成10年(1998) 2月25日

(71) 出願人 000001443

カシオ計算機株式会社

東京都渋谷区本町1丁目6番2号

(72) 発明者 渡辺 彰

東京都羽村市栄町3丁目2番1号 カシオ

計算機株式会社羽村技術センター内

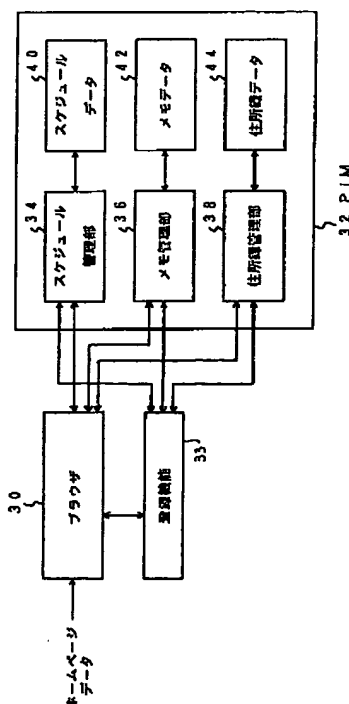
(74) 代理人 弁理士 鈴江 武彦 (外5名)

(54) 【発明の名称】 情報機器、及び記録媒体

(57) 【要約】

【課題】 利用者に負担を強いることなく、インターネット上のホームページによって提供される各種情報やサービスを有効に活用することを可能にする。

【解決手段】 個人情報を所定の情報単位で管理する P I M 3 2 (スケジュール管理部 3 4、メモ管理部 3 6、住所録管理部 3 8) と、URL (uniform resource locator) 情報の指定によって該当するホームページを閲覧すると共に、ホームページを利用したデータ送信を行なうブラウザ 3 0 と、ブラウザ 3 0 によって閲覧されたホームページの URL 情報を、P I M 3 2 によって管理される所定の情報単位に關係付けする登録機能 3 3 とを具備し、P I M 3 2 が管理する個人情報に關係付けられた URL 情報をもとにホームページを閲覧することを特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 個人情報所定の情報単位で管理する個人情報管理手段と、

URL (uniform resource locator) 情報の指定によって該当するホームページを閲覧すると共に、前記ホームページを利用したデータ送信を行なう閲覧手段と、

前記閲覧手段によって閲覧されたホームページのURL情報を、前記個人情報管理手段によって管理される所定の情報単位に関係付ける登録手段とを具備し、

前記個人情報管理手段が管理する個人情報に関係付けられたURL情報をもとにホームページを閲覧することを特徴とする情報機器。

【請求項2】 前記個人情報管理手段は、

アラーム時刻が任意に設定されるスケジュール情報を情報単位として管理し、前記アラーム時刻となった時に、このスケジュール情報に前記登録手段により関係付けられたURL情報をもとに、前記閲覧手段によってホームページを閲覧させるスケジュール管理手段を具備したことを特徴とする請求項1記載の情報機器。

【請求項3】 前記スケジュール情報に関係付けられたURL情報をもとに閲覧されたホームページを利用して、前記閲覧手段によりデータ送信が行われた際に、前記スケジュール管理手段は、同様の他のスケジュール情報に対して、同じURL情報を関係付けることを特徴とする請求項1記載の情報機器。

【請求項4】 コンピュータを、

個人情報を所定の情報単位で管理する個人情報管理手段と、

URL (uniform resource locator) 情報の指定によって該当するホームページを閲覧すると共に、前記ホームページを利用したデータ送信を行なう閲覧手段と、

前記閲覧手段によって閲覧されたホームページのURL情報を、前記個人情報管理手段によって管理される所定の情報単位に関係付ける登録手段とに機能させ、

前記個人情報管理手段が管理する個人情報に関係付けられたURL情報をもとにホームページを閲覧するように制御するためのプログラムコードが記録された記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、ホームページを閲覧する機能を有する情報機器、及び記録媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】 近年、パーソナルコンピュータ等の情報機器の普及に伴い、大学や研究機関だけに限らず、一般家庭などにおいてもインターネットが広く利用され始めている。インターネット上では、各種のサービスや機能を利用することができるが、その中の一つにWWW (World Wide Web) がある。WWWでは、WWW検索ソフト (WWWブラウザ (以下、単にブラウザと称する)) を

利用し、URL (uniform resource locator) を指定することで所望のWWWサーバに接続し、WWWサーバに蓄積されたデータ、いわゆるホームページを閲覧することができる。この明細書の中では、ホームページとは、ネットワーク上に公開される所定形式の情報を意味し、URLは特定の情報を指定する識別子を意味するものとする。ホームページでは、テキスト以外に、画像や音声、動画などの各種データにより、様々な情報が提供されている。さらに、ホームページには、様々な商品 (本、CD、衣料、食品、花、貴金属、バッグなど) を販売する、いわゆるオンラインショッピングサービスを提供しているものもある。

【0003】 また、ホームページには、他のホームページなど各種情報への飛び先 (リンク) が用意されており、リンクを指定するだけで他の情報を参照することができる。このリンクを次々に指定することで、インターネットのWWWページ (ホームページ等) を次々と見て回る、いわゆるネットサーフィンを行なうことができる。

【0004】 一般に、ブラウザには、閲覧中のホームページのURL情報を、任意に登録する機能 (以下、登録機能と称する) が設けられている。この登録機能を用いてURL情報を登録しておくことで、登録したURL情報の一覧を表示させ、その中からURL情報を選択することによって、選択したURL情報が示すホームページを直接的に閲覧することができる。

【0005】 従って、ネットサーフィンなどによって様々なホームページを閲覧し、興味を持ったホームページがあれば任意に登録しておくことで、後日、改めてこのホームページを閲覧する際の操作手順を非常に簡単にすることができる。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】 このように従来の情報機器では、ブラウザを利用することによってインターネット上のホームページを任意に閲覧し、各種情報の提供やサービスの提供を受けることができる。また、登録機能を用いることで、任意のタイミングで特定のホームページを閲覧することができる。

【0007】 しかしながら、特定のホームページによって、有用な各種情報の提供やサービスの提供を受けられることを知っていても、それらがどのような時、状況、対象等に対して有用であるかは、利用者が別途、記憶しておかなければならなかった。

【0008】 例えば、ホームページによって提供されるオンラインショッピングサービスを特定の時期に利用しようとする場合、利用者がその時期を憶えておき、その時期になった時に、情報機器においてブラウザを起動し、ブラウザから登録機能によって以前に登録しておいたURL情報を一覧中から選択することで、利用しようとするホームページを閲覧することができる。従って、

利用者が、サービスの提供を受けようとする時期を忘れてしまった場合には、ブラウザに登録機能が設けられていても有効に活用できなくなってしまう。

【0009】すなわち、従来の情報機器において、ホームページを利用した各種情報の提供やサービスの提供を有効に活用するためには、利用者がホームページを利用する時、状況、対策等を記憶しておくといった負担を負わなければならなかった。

【0010】本発明は、前記のような問題に鑑みなされたもので、利用者に負担を強いることなく、インターネット上のホームページによって提供される各種情報やサービスを有効に活用することが可能な情報機器、及び記録媒体を提供することを目的とする。

【0011】

【課題を解決するための手段】本発明は、個人情報を所定の情報単位で管理する個人情報管理手段と、URL (uniform resource locator) 情報の指定によって該当するホームページを閲覧すると共に、前記ホームページを利用したデータ送信を行なう閲覧手段と、前記閲覧手段によって閲覧されたホームページのURL情報を、前記個人情報管理手段によって管理される所定の情報単位に関係付ける登録手段とを具備し、前記個人情報管理手段が管理する個人情報に関係付けられたURL情報をもとにホームページを閲覧することの特徴とする。

【0012】つまり、個人情報管理手段(PIM: personal information manager)によって管理される個人情報、例えばスケジュール管理機能におけるスケジュール、住所録機能における住所録、メモ機能におけるメモなどに対して、個人情報が示す事項に利用可能なホームページのURL情報を関連付けておくことで、個人情報管理手段から有用なホームページを直接的に閲覧させることができる。

【0013】また、前記個人情報管理手段は、アラーム時刻が任意に設定されるスケジュール情報を情報単位として管理し、前記アラーム時刻となった時に、このスケジュール情報に前記登録手段により関係付けられたURL情報をもとに、前記閲覧手段によってホームページを閲覧させるスケジュール管理手段を具備したことを特徴とする。

【0014】これにより、スケジュール管理手段が有するアラーム機能(アラーム時刻になった時に通知を行なう)を利用して、適時にスケジュールの内容に応じたホームページが閲覧される。

【0015】また、前記スケジュール情報に関係付けられたURL情報をもとに閲覧されたホームページを利用して、前記閲覧手段によりデータ送信が行われた際に、前記スケジュール管理手段は、同様の他のスケジュール情報に対して、同じURL情報を関係付けることを特徴とする。

【0016】これにより、一つのホームページ(URL

情報)を個人情報に関係付け、このホームページを利用してデータ送信が行われた場合、すなわち実際にホームページが提供するサービス等が有用であり、サービスの提供を受けるなどした場合には、他の同じ系統の内容を持つ個人情報に対しても自動的にURL情報を関係付けることにより、個人情報管理手段からホームページをより効果的に利用できる。

【0017】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照して本発明の実施の形態について説明する。図1は本発明の実施の形態に係わる情報機器の電子回路の構成を示すブロック図である。本情報機器は、各種の記録媒体に記録されたプログラムコードを読み込み、この読み込んだプログラムコードによって動作が制御されるコンピュータによって構成される。

【0018】図1に示すように、情報機器は、CPU10、入力装置12、RAM14、表示装置16、通信装置18、及び記憶装置20によって構成されている。CPU10は、装置全体の制御を司るもので、入力装置12からのキー操作信号に応じて、RAM14に記憶されているプログラムを起動させ、このプログラムに従って個人情報管理機能、ホームページの閲覧機能等を実行する。CPU10は、記憶装置20によって記憶媒体20aに記録されているプログラムコードを読み込み、RAM14に記憶させて実行することができる。

【0019】入力装置12は、情報機器の動作を規定する指示やデータを入力するもので、キーボードやマウス等のポインティングデバイスによって構成される。RAM14は、情報機器全体の制御を司るシステムプログラム、各種機能に対応した制御処理プログラムの他、個人情報機能によって管理される各種のデータが必要に応じて記憶される。

【0020】表示装置16は、個人情報管理機能やホームページ閲覧機能等を実行する際に、各種データの内容を表示する場合などに用いられる。通信装置18は、ホームページ閲覧機能によってインターネットを介してホームページを閲覧する場合に外部との通信を行なう。

【0021】記憶装置20は、プログラム、データ等が予め記録されている記憶媒体20aを有しており、この記憶媒体20aは磁氣的、光学的記憶媒体、もしくは半導体メモリで構成されている。記憶媒体20aは、記憶装置に固定的に設けたもの、もしくは着脱自在に装着するものである。また、記憶媒体20aに記憶されるプログラム、データ等は、通信回線20b等を介して接続された他の機器から受信して記憶する構成にしても良く、さらに、通信回線20b等を介して接続された他の機器側に記憶媒体を備えた記憶装置を設け、この記憶媒体に記憶されているプログラム、データを通信回線を介して使用する構成にしても良い。

【0022】次に、前述した電子回路によって実現され

る機能構成について説明する。図2は、本実施形態における情報機器の個人情報管理機能、及びホームページ閲覧機能に係る機能構成を示すブロック図である。

【0023】図2に示すように情報機器には、ブラウザ30、PIM (personal information manager) 32、及び登録機能33が設けられている。ブラウザ30は、ホームページ閲覧機能を実現するためのもので、入力装置12から任意に指定されたURL情報、あるいはPIM32によって管理されているデータ（個人情報）に関連付けられたURL情報をもとにホームページデータを取得し、表示装置16においてホームページを表示させる。

【0024】PIM32は、個人情報管理機能を実現するためのもので個人情報を所定の情報単位で管理する。PIM32には、例えばスケジュール管理部34、メモ管理部36、住所録管理部38などの機能が設けられている。

【0025】スケジュール管理部34は、イベントの内容と、そのイベントの日時等を対応付けて情報単位とし、スケジュールデータ40として登録する機能である。本実施形態では、スケジュールデータ40の情報単位に対して、後述する登録機能33によって関係付けられたURL情報を添付エリアに付加することができる。また、スケジュール管理部34では、情報単位に対してアラーム時刻を任意に設定し、アラーム時刻が示す日時となった時に所定の通知を行なうアラーム機能が設けられている。本実施形態では、情報単位に対してURL情報が関係付けられている場合には、アラーム時刻となった時に、関係付けられたURL情報をもとに、URL情報が示すホームページを閲覧させる機能が設けられている。

【0026】メモ管理部36は、任意に指定されたデータを情報単位とし、メモデータ42として登録する機能である。メモ内容となるデータとしては、テキスト以外に、画像や音声、動画などのデータであっても良い。本実施形態では、メモデータ42の情報単位に対して、後述する登録機能33によって関係付けられたURL情報を添付エリアに付加することができる。

【0027】住所録管理部38は、個人や組織などの名称と、住所、電話番号、電子メールアドレス、会社名など、各種の情報を対応付けて情報単位とし、住所録データ44として登録する機能である。本実施形態では、住所録データ44の情報単位に対して、後述する登録機能33によって関係付けられたURL情報を添付エリアに付加することができる。

【0028】登録機能33は、ブラウザ30によって閲覧されているホームページを示すURL情報を、PIM32によって管理される情報単位に関係付けるもので、スケジュール管理部34、メモ管理部36、住所録管理部38によってそれぞれ管理されている、スケジュール

データ40、メモデータ42、住所録データ44中の各種データの情報単位に対してURL情報を対応付けて登録する。

【0029】次に、前述した構成による情報機器の動作について説明する。はじめに、ブラウザ実行処理（ブラウザを用いたホームページの閲覧処理）について説明する。図3は、情報機器によるブラウザ実行処理を示すフローチャートである。図3に記載した各処理を実現するプログラムは、CPUが読み取り可能なプログラムコードの形態で、例えば記憶媒体20aに記録されて提供される。

【0030】まず、CPU10は、ブラウザ30の実行が指示されると、RAM14に格納されたブラウザのプログラムを実行してブラウザ30を起動させる。起動されたブラウザ30は、URL情報の指定によってホームページへのアクセス実行が要求されると、通信装置18を介してインターネットに接続し、指定されたURL情報が示すホームページデータを取得する（ステップA1）。

【0031】ブラウザ30は、取得したホームページデータ（HTML文書）をもとにして、表示装置16においてホームページを表示させる（ステップA2）。ここで、ページ変更の指示があった場合には（ステップA4）、ブラウザ30は、指定されたページ（Webページ）のホームページデータをインターネットを介して取得し、表示装置16において表示させる（ステップA2）。

【0032】こうして、ホームページの他のページ、あるいはホームページに設けられた他のホームページへのリンクの指定によって、任意のホームページ、Webページを閲覧することができる（いわゆる、ネットサーフィン）。その間に、有用な各種情報の提供やサービスの提供を受けられるホームページを見つけた場合には、ブラウザ30に用意されたコマンドの選択によって、次のようにして該当するホームページのURL情報を、PIM32が扱うデータと関係付けて登録しておくことができる。

【0033】すなわち、ホームページ（Webページ）が表示された状態で、ホームページ（URL情報）の登録の実行が指示されると（ステップA3）、ブラウザ30は、保管モード選択メニューを表示させ、この保管モード選択メニューから選択されたモードに応じてURL情報を登録することができる（ステップA5、A6）。

【0034】図4には、保管モード選択メニューが表示された状態のブラウザ表示画面の一例を示している。図4に示す例は、URL情報「www://xyz.co.jp」が示すホームページが表示された状態で、ブラウザ30のメニューに設けられた登録ボタン50が指示され、保管モード選択メニュー52が表示された状態を示している。このURL情報「www://xyz.

co.jp」が示すホームページでは、例えば指定された日に、指定された商品をプレゼントとして発送するオンラインショッピングのサービスを提供しているものとする。

【0035】図4に示すように、保管モード選択メニュー52には、「スケジュール」「メモ」「住所録」「一般」の各モードを選択する項目が設けられている。「スケジュール」は、スケジュール管理部34によって扱われるスケジュールデータ40に、URL情報を関連づけて登録するモードを示し、「メモ」は、メモ管理部36によって扱われるメモデータ42に、URL情報を関連づけて登録するモードを示し、「住所録」は、住所録管理部38によって扱われる住所録データ44に、URL情報を関連づけて登録するモードを示している。また、「一般」は、ブラウザ30において簡単に指定できるようにURL情報を登録する通常の登録モードを示している。

【0036】例えば、図4に示す保管モード選択メニュー52において、「スケジュール」が選択されたものとする(ステップA6)。この場合、ブラウザ30は、PIM32のスケジュール管理部34を起動させ、スケジュールデータ40に登録されたデータを提示するためのスケジュール画面を表示させる(ステップA7)。図5には、ブラウザ表示画面中にスケジュール表示された状態の一例を示している。

【0037】スケジュール表示では、イベントの内容と、そのイベントの日時とが対応付けられ情報単位として表示されている。このスケジュール表示に対しては、入力装置12(マウスなどのポインティングデバイス)の操作によって移動されるポインタ54によって、URL情報の関係付けの対象となる情報単位を指定することができる。

【0038】すなわち、ネットサーフィンによって閲覧した複数のホームページの中で、有用なサービスを提供しているホームページがあった場合に、このホームページが提供しているサービスを利用するイベントの内容をスケジュール表示中から選択することで、ホームページを示すURL情報をイベント内容に関係付けることができる。

【0039】ブラウザ30は、スケジュール表示においてイベント内容が指定されると、指定されたイベント内容に対するURL情報の関係付けを登録機能33に通知する。登録機能33は、ブラウザ30からの通知に応じて、例えば図6に示すように、スケジュールデータ40中の指定されたスケジュールの内容に対応して、添付エリアにURL情報を登録する(ステップA8)。

【0040】例えば、図4に示すような、プレゼントを贈るのに適したホームページを見つけた時に、このホームページが提供するサービスによってプレゼントを送るイベントとして、図5中の「葵ちゃんの誕生日」を選択

することで、図6に示すように、スケジュール内容「葵ちゃんの誕生日」の添付エリアにURL情報「www://xyz.co.jp」が登録される。

【0041】なお、スケジュール管理部34の機能の一つとして、アラーム機能が設けられている。アラーム機能は、スケジュール内容(イベントの内容)に対してアラームを通知すべき月日時刻が指定されると、この月日時刻に到達した時に所定の通知(スケジュールアラーム)を出力する機能である。

【0042】図6に示す例では、スケジュール内容「葵ちゃんの誕生日」に対して、アラーム時刻「10/21」(時刻を省略している)が指定された状態を示している。このスケジュールアラームの詳細については後述する。

【0043】また、スケジュール表示において、前述のような操作によってURL情報が関係付けられたスケジュール内容に対しては、URL情報が関係付けられていることを示す所定の添付マークが付加される。図5に示す例では、10月25日の予定の「パーティ」に対して、添付マーク56が付加され、何れかのホームページを示すURL情報が付加されていることを示している。この添付マーク56に対する操作については後述する。

【0044】こうして保管モード選択メニュー52を用いた登録が完了すると、ブラウザ30は、ホームページを表示する状態に戻る(ステップA14、A1、A2)。一方、保管モード選択メニュー52において、「メモ」が選択されたものとする(ステップA6)。

【0045】この場合、ブラウザ30は、PIM32のメモ管理部36を起動させ、メモデータ42に登録されたデータを提示するためのメモ画面を表示させる(ステップA9)。

【0046】メモ表示では、入力済みのメモ内容が情報単位として一覧表示される。あるいは新規メモ入力用の画面が表示されても良い。このメモ表示に対しては、一覧表示されている場合には、「スケジュール」の場合と同様にして、入力装置12の操作によってURL情報の関係付けの対象となる情報単位を指定することができる。

【0047】すなわち、ネットサーフィンによって閲覧した複数のホームページの中で、メモ内容に関連する有用な情報を提供しているホームページがあった場合に、このホームページが提供している情報と関連するメモ内容を一覧中から選択することで、ホームページを示すURL情報をメモ内容に関係付けることができる。

【0048】ブラウザ30は、メモ表示においてメモ内容が指定されると、指定されたメモ内容に対するURL情報の関係付けを登録機能33に通知する。登録機能33は、ブラウザ30からの通知に応じて、例えば図7に示すように、メモデータ42中の指定されたメモ内容に対応して、添付エリアにURL情報を登録する(ステッ

ブA10)。

【0049】例えば、「インフルエンザの予防方法」に関するメモ内容が登録されている場合(図8)、インフルエンザに関する情報を提供しているホームページを見つけた時に、このホームページが提供する情報に関係付けるメモ内容として、「インフルエンザの予防方法」のメモ内容を選択することで、図7に示すように、メモ内容「インフルエンザの予防方法」の添付エリアにURL情報「www: // ABC. co. jp」が登録される。

【0050】また、メモ表示において、前述のような操作によってURL情報が関係付けられたメモ内容に対しては、図8に示すように、メモ内容を表示するメモ表示画面中にURL情報が関係付けられていることを示す所定の添付マーク62が付加される。この添付マーク62に対する操作については後述する。

【0051】こうして保管モード選択メニュー52を用いた登録が完了すると、ブラウザ30は、ホームページを表示する状態に戻る(ステップA14、A1、A2)。また、保管モード選択メニュー52において、「住所録」が選択されたものとする(ステップA6)。

【0052】この場合、ブラウザ30は、PIM32の住所録管理部38を起動させ、住所録データ44に登録されたデータを提示するための住所録画面を表示させる(ステップA11)。

【0053】住所録表示では、個人や組織などの名称と、住所、電話番号、電子メールアドレス、会社名など、各種の情報を対応付けて情報単位として一覧表示される。この住所録表示に対しては、「スケジュール」の場合と同様にして、入力装置12の操作によってURL情報の関係付けの対象となる情報単位(特定の住所録の内容)を指定することができる。

【0054】すなわち、ネットサーフィンによって閲覧した複数のホームページの中で、住所録の内容に関連する有用な情報を提供しているホームページがあった場合に、このホームページが提供している情報と関連する住所録の内容を一覧中から選択することで、ホームページを示すURL情報を住所録の内容と関係付けることができる。例えば、住所録中に、勤務先(会社名)を示す項目が設けられている場合に、住所録に勤務先として登録されている会社が提供しているホームページを住所録の内容に関係付ける場合などがある。

【0055】ブラウザ30は、住所録表示において特定の住所録の内容が指定されると、指定された住所録の内容に対するURL情報の関係付けを登録機能33に通知する。登録機能33は、ブラウザ30からの通知に応じて、例えば図9に示すように、住所録データ44中の指定された住所録の内容に対応して、添付エリアにURL情報を登録する(ステップA12)。

【0056】例えば、氏名「BBBB」に関する住所録

が登録されている場合(図10)、住所録に勤務先として登録されている会社が「AAA商事」であって、この「AAA商事」に関するホームページ(URL情報「www: // AAA. com」によって示す)を見つけた時に、氏名「BBBB」に対応する住所録を選択することで、図9に示すように、氏名「BBBB」に対応する住所録の添付エリアにURL情報「www: // AAA. com」が登録される。

【0057】また、住所録表示において、前述のような操作によってURL情報が関係付けられた住所録の内容に対しては、図10に示すように、住所録を表示する住所録表示画面中にURL情報が関係付けられていることを示す所定の添付マーク64が付加される。この添付マーク64に対する操作については後述する。

【0058】こうして保管モード選択メニュー52を用いた登録が完了すると、ブラウザ30は、ホームページを表示する状態に戻る(ステップA14、A1、A2)。なお、保管モード選択メニュー52において、「一般」が選択された場合には、ブラウザ30は、現在表示中のホームページのURL情報を、「お気に入り」として所定の記憶領域に保存しておく。この「一般」によって登録されたURL情報は、ブラウザ30に用意されたコマンドの選択によって一覧表示され、「お気に入り」のホームページとして一覧表示される。その一覧表示からURL情報が選択されると、ブラウザ30は、選択されたURL情報が示すホームページに、直接的にアクセスして閲覧させる。

【0059】こうして、ブラウザ30によってホームページを閲覧している時に、登録ボタン50に対する指示によって提示される保管モード選択メニュー52を用いて、PIM32の機能(スケジュール管理部34、メモ管理部36、住所録管理部38)によって扱われるデータと関係付けて、URL情報を登録することができる。

【0060】次に、前述のようにして、PIM32の機能によって扱われるデータと関係付けられたURL情報の利用について、スケジュール管理部34の動作を用いて説明する。図11は、スケジュール管理部34によるスケジュール機能の動作を示すフローチャートである。

【0061】スケジュール管理部34は、アラーム機能が起動されており、例えば図6に示すように、スケジュール内容「葵ちゃんの誕生日」についてアラーム時刻が指定されているものとする。

【0062】スケジュール管理部34は、スケジュールデータ40の情報単位に対して任意に設定されているアラーム時刻のうち、最も現在に近いものを当面のスケジュールアラームの対象とするアラーム時刻としてアラーム時刻エリアに設定している。スケジュール管理部34は、現在の時刻が、このアラーム時刻エリアに設定されたアラーム時刻に到達したかを常時監視している(ステップB1)。

【0063】スケジュール管理部34は、アラーム時刻に到達したことを検出すると、指定された月日時刻となったことを通知するためのスケジュールアラームを表示させる（ステップB2）。

【0064】図12には、スケジュールアラームが表示されたスケジュール表示画面の一例を示している。図12に示すスケジュールアラームでは、スケジュール内容「葵ちゃんの誕生日」と、スケジュール内容に対応する日付までの日数の通知「あと7日」を表示することで、スケジュールの内容が登録されていることを明示的に通知する。

【0065】ここで、スケジュール管理部34は、スケジュールアラームの対象となったスケジュール内容に対応して、添付エリアにURL情報が登録されているか否かを判別し、URL情報が登録されている場合には、図12中に示すように添付マーク66を付加してスケジュールアラームを表示する。

【0066】スケジュールアラームに対して確認指示があった場合、スケジュール管理部34は、スケジュールアラームの表示を終了する（ステップB3）。一方、図12に示すように、スケジュールアラームに添付マーク66が付加されている場合に、添付マーク66に対する操作（例えばポインティングデバイスによる選択指示）があると（ステップB4）、スケジュール管理部34は、ブラウザ30を起動し、現在、スケジュールアラームの対象となっているスケジュールデータに付加された添付エリアのURL情報を、スケジュールデータ40から読み出して提供する。ブラウザ30は、スケジュール管理部34によってURL情報が提供されると、通信装置18を介してインターネットに接続し、URL情報が示すホームページにアクセスする（ステップB5）。

【0067】ブラウザ30は、URL情報が示すホームページからホームページデータを取得し、スケジュールに添付されたホームページ（添付ホームページ）として表示させる（ステップB6）。

【0068】この添付ホームページは、スケジュール内容（「葵ちゃんの誕生日」）に有効であるとして登録されていたホームページである。この場合では、誕生日のプレゼントを贈るために、ホームページが提供するサービスを利用することができる。

【0069】表示された添付ホームページでは、例えばプレゼントの購入者（申込者）名、プレゼント商品、届け先の相手の名称及び住所、届け日などの各種情報を設定し、送信することによって、サービスの提供を受けることができる。

【0070】データ送信を行わない場合、すなわちホームページが提供するサービスを利用しない場合、ブラウザ30は、インターネットとの接続を終了する（ステップB7）。また、スケジュール管理部34は、スケジュールアラームの対象となったスケジュールについての処

理を終了する。

【0071】一方、データ送信があった場合（ステップB7）、ブラウザ30は、指定された各種情報をホームページの提供元であるWebサイト（サーバ）に送信すると共に、スケジュール管理部34にデータ送信があったことを通知する。

【0072】スケジュール管理部34は、ブラウザ30からの通知に応じて、データ送信の対象となったスケジュール内容と同様の（あるいは類似する）スケジュール内容を、スケジュールデータ40からサーチして求める（ステップB8）。前述した例では、スケジュール内容の「誕生日」をキーワードにして、その後の日付で登録されているスケジュール内容をサーチして「誕生日」を含む他のスケジュール内容を求める。

【0073】図6に示す例では、12月25日の日付に「遥ちゃんの誕生日」のスケジュール内容が登録されているため、このスケジュール内容が「葵ちゃんの誕生日」と同様のスケジュール内容として求められる。スケジュール管理部34は、スケジュールデータ40からサーチして求められた他のスケジュール内容を提示して、ホームページを添付するか否かを問い合わせる画面を表示させる。

【0074】ここで、ホームページを添付する指示があった場合（ステップB9）、スケジュール管理部34は、サーチによって求められた他のスケジュール内容に対応する添付エリアに、データ送信を実際に行ったホームページを示すURL情報を登録する。

【0075】なお、同様の他のスケジュール内容が複数ある場合、URL情報を添付するスケジュール内容を任意に選択できるようにしても良い。図6に示す例では、スケジュール内容「遥ちゃんの誕生日」の添付エリアに、スケジュール内容「葵ちゃんの誕生日」の添付エリアに登録されたURL情報「www://xyz.co.jp」と同じURL情報が登録される。

【0076】このようにして、ホームページに対してデータ送信を行ない、ホームページが提供するサービスを受けた場合には、実際にスケジュール内容に対して有用であることを示しているため、他の同様のスケジュールについても同じURL情報を添付エリアに登録することで、他のスケジュール内容に対しても簡単にホームページが提供する有用なサービスを利用できるようになる。

【0077】なお、前述した説明では、スケジュールアラームの表示において付加された添付マーク66が操作された場合に、ホームページにアクセスするものと説明しているが、スケジュールアラームと同時に、ホームページに自動的にアクセスして閲覧させるようにしても良い。

【0078】また、データ送信の対象となったスケジュール内容と同様の（あるいは類似する）スケジュール内容を求めるために、前述のようにしてキーワードをもと

にサーチする方法の他に、スケジュール登録時に予め所定の分類をしておき、同じ分類に含まれる他のスケジュール内容の添付エリアに登録するようにもできる。これにより、必ずしもキーワードとする文字列を含まないスケジュール内容に対しても、同じURL情報を登録し、ホームページが提供する同じサービスを簡単に利用できるようにする。

【0079】さらに、スケジュール管理部34では、スケジュールアラームの表示において付加される添付マーク66に対する操作によってでなく、図5に示すような、通常のスケジュール機能実行時のスケジュール表示において、スケジュール内容に付加された添付マーク56を操作をした場合も、スケジュール内容に対応して登録されたURL情報が示すホームページにアクセスすることもできる。この場合では、任意のタイミングでスケジュール内容に関係するホームページが提供するサービスを利用することができる。

【0080】同様に、メモ管理部36及び住所録管理部38は、それぞれのデータ表示用の画面において、データに付加された添付マークの操作によって、URL情報が示すホームページにアクセスし、ホームページが提供する情報を参照することができる。

【0081】すなわち、メモ管理部36は、図8に示すように、メモ表示画面において表示した添付マーク62に対する操作があった場合、表示中のメモの内容の添付エリアに登録されたURL情報をもとに、ブラウザ30を介してホームページデータを取得し、メモ内容に関連する情報を提供するホームページを表示させることができる。

【0082】また、住所録管理部38は、図10に示すように、住所録表示画面において特定の住所録(図10では氏名「BBBB」に関する住所録)に対応づけて表示した添付マーク64に対する操作があった場合、該当する住所録の内容の添付エリアに登録されたURL情報をもとに、ブラウザ30を介してホームページデータを取得し、住所録の内容に関連する情報を提供するホームページを表示させることができる。例えば、住所録に登録された勤務先を示す会社に関連するホームページを閲覧することができる。

【0083】また、前述した実施形態では、ホームページを閲覧する場合には、通信装置18を介してインターネットに接続し、インターネットを介してホームページデータを取得するものとして説明しているが、例えば記憶装置20(あるいは記憶媒体20a)に記録されたホームページデータを読み出して閲覧するようにしても良い。そして、ホームページを参照して、実際にホームページが提供しているサービスを利用するためにデータ送信を行なう場合に、インターネットに接続する。

【0084】このようにして、PIM32において扱われるデータに関連付けて、情報単位毎に有用なホームペ

ージを示すURL情報を登録し、PIM32の機能(スケジュール管理部34、メモ管理部36、住所録管理部38)から情報単位に関連付けられたURL情報を用いて直接的にホームページを閲覧し、ホームページが提供するサービスや情報を利用することができる。

【0085】従って、利用者は、有用なサービスや情報を提供するホームページについて、ホームページを利用する時、状況、対象等を記憶しておくといった負担を負う必要がなく、また簡単、かつ有効に利用することが可能となる。

【0086】

【発明の効果】以上のように、本発明に係わる情報機器によれば、個人情報管理手段(PIM)によって管理される個人情報、例えばスケジュール管理機能におけるスケジュール、住所録機能における住所録、メモ機能におけるメモなどに対して、個人情報が示す事項に利用可能なホームページのURL情報を関連付けておくことで、個人情報管理手段から有用なホームページを直接的に閲覧させることができるので、利用者に負担を強いることなく、インターネット上のホームページによって提供される各種情報やサービスを有効に活用することが可能となるものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態に係わる情報機器の電子回路の構成を示すブロック図。

【図2】本実施形態における情報機器の個人情報管理機能、及びホームページ閲覧機能に係る機能構成を示すブロック図。

【図3】情報機器によるブラウザ実行処理を示すフローチャート。

【図4】保管モード選択メニューが表示された状態のブラウザ表示画面の一例を示す図。

【図5】ブラウザ表示画面中にスケジュール表示された状態の一例を示す図。

【図6】スケジュールデータ40中の指定されたスケジュールの内容に対応して添付エリアにURL情報が登録された状態の一例を示す図。

【図7】メモデータ42中の指定されたメモ内容に対応して、添付エリアにURL情報が登録された状態の一例を示す図。

【図8】メモ内容を表示するメモ表示画面中にURL情報が関係付けられていることを示す所定の添付マーク62が付加された状態の一例を示す図。

【図9】住所録データ44中の指定された住所録の内容に対応して添付エリアにURL情報が登録された状態の一例を示す図。

【図10】住所録を表示する住所録表示画面中にURL情報が関係付けられていることを示す所定の添付マーク64が付加された状態の一例を示す図。

【図11】スケジュール管理部34によるスケジュール

機能の動作を示すフローチャート。

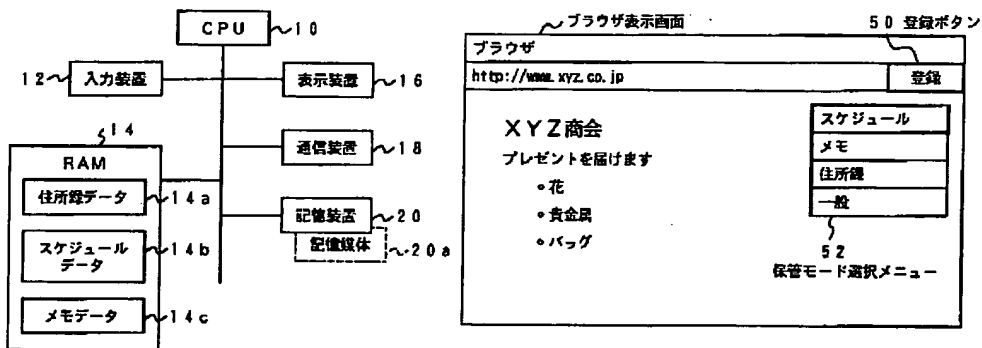
【図12】スケジュールアラームが表示されたスケジュール表示画面の一例を示す図。

【符号の説明】

- 10…CPU
12…入力装置
14…RAM
14a…住所録データ
14b…スケジュールデータ
14c…メモデータ
16…表示装置
18…通信装置
20…記憶装置
30…ブラウザ
32…PIM
33…登録機能33
34…スケジュール管理部
36…メモ管理部
38…住所録管理部
40…スケジュールデータ
42…メモデータ
44…住所録データ

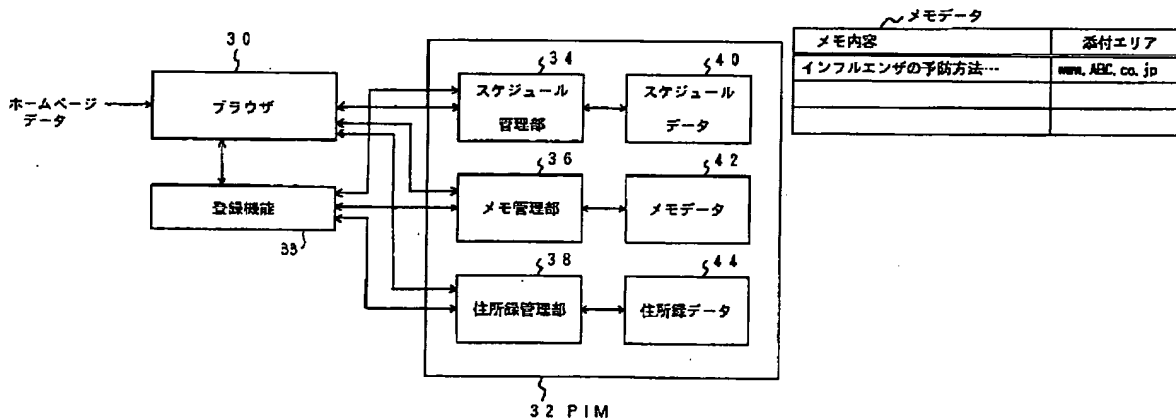
【図1】

【図4】



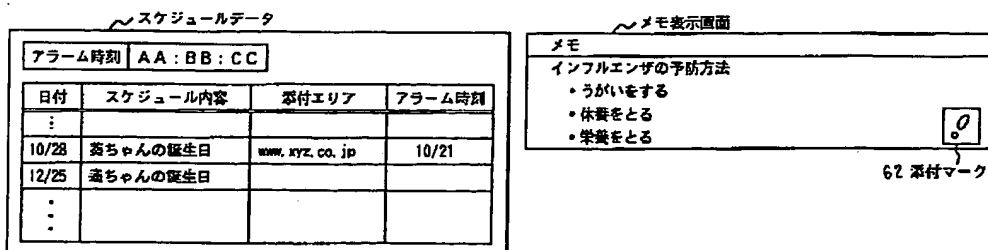
【図2】

【図7】



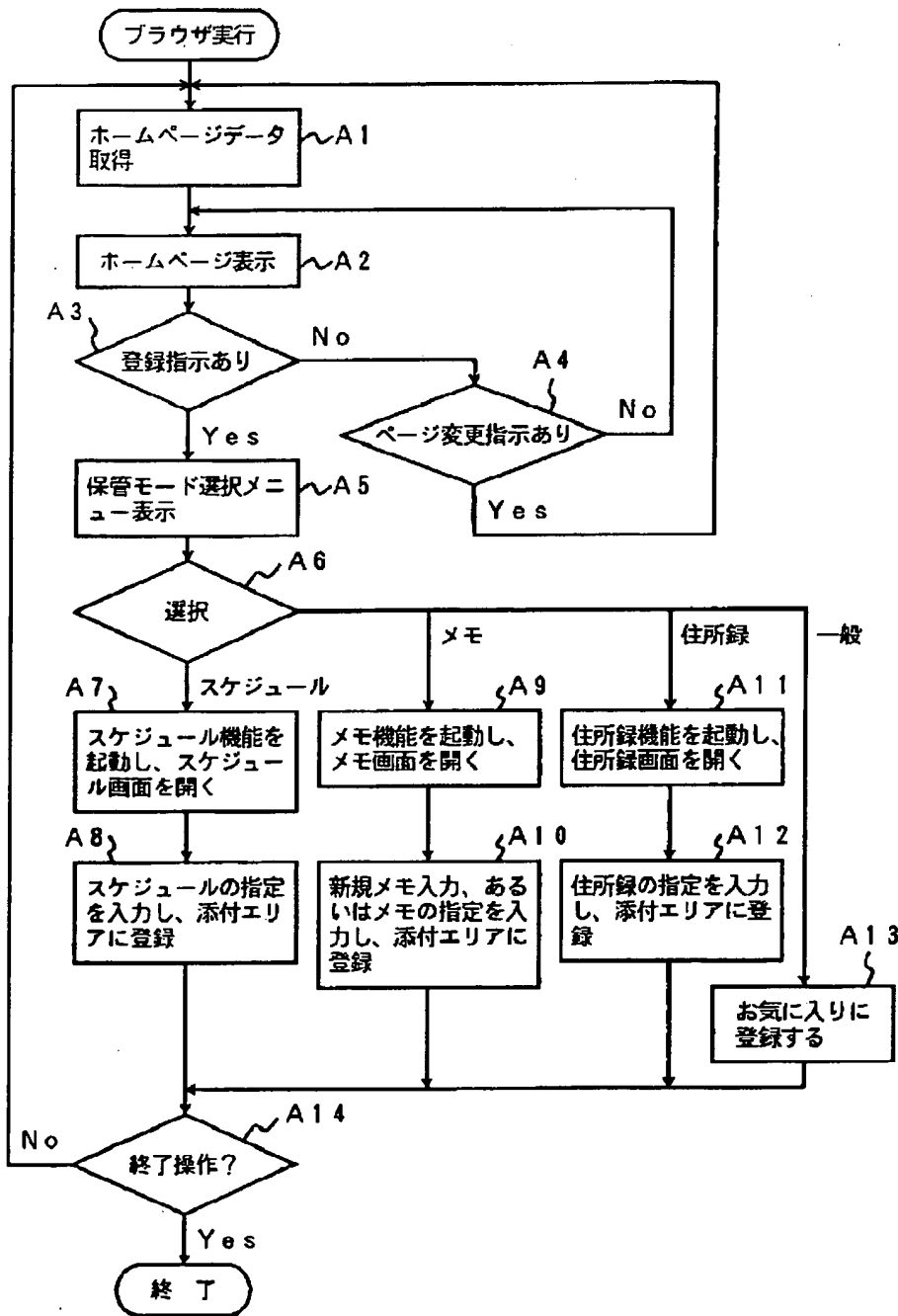
【図6】

【図8】



62 添付マーク

【図3】

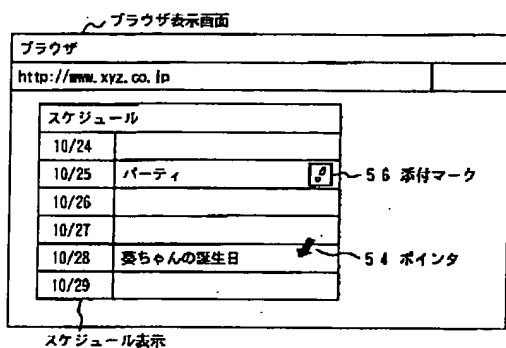


【図9】

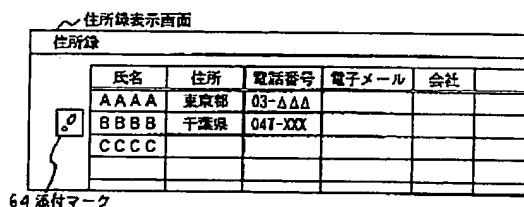
住所録データ

氏名	住所	電話番号	電子メール	会社	...	添付エリア
AAAA	東京都	03-△△△				
BBBB	千葉県	047-XXX				www. AAA. com
CCCC						

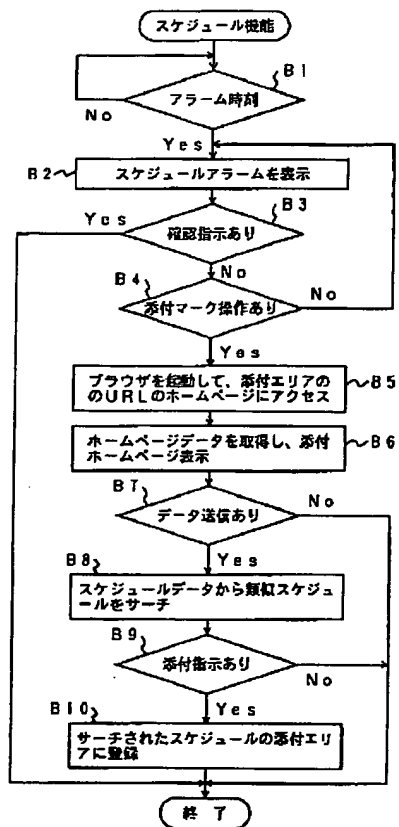
【図5】



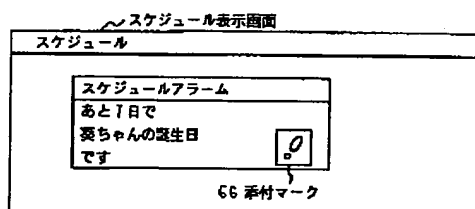
【図10】



【図11】



【図12】



フロントページの続き

(51)Int.Cl.⁶

識別記号

FI

G06F 15/40

310F

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☒ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.